

新特産品コンクールの入賞商品を紹介しながら「本物。」の魅力伝えます。

特産品探訪

屋久杉システム手帳「千年の記」

2009かごしまの新特産品コンクール 鹿児島市長賞

株式会社山王産業 〒892-0875 鹿児島市川上町685番地 電話 099-243-5010
ホームページ <http://www.yamaou.com/>



屋久杉システム手帳「千年の記」
幅 14.5cm (開いて 30.0cm)、奥行 19.5cm、厚み 3.0cm 税込 48,000円

樹齢数千年の貴重な原木で作られた屋久杉システム手帳「千年の記」。鹿児島市にある屋久杉専門工場の株式会社山王産業 代表取締役 山王博和さんにお話を伺いました。

木のさわやかなとてもいい香りがありますね。

この香りが一番の特徴だと思えます。数千年の歴史が凝縮された香りです。手帳の表紙と背表紙をつないでいる丁番や、手帳の中身を仕切るインデックススリフイルも屋久杉で作っているのです。ページをめくるとたび香りが楽しめます。

伝統技術による「身近に使える屋久杉」をテーマに作りました。樹齢数千年の原木、本物の素材を使った貴重さを感じてほしいです。一つ一つ手作りですので、同じものは二つとありません。

千年経った木は千年もつとも言われます。この手帳に自分の時を記し、千年先まで引き継いでもらえたら嬉しいですね。

商品開発のポリシーは？

「屋久杉が喜ぶ商品づくり」を指しています。屋久杉と人間が生活をともにするもの、屋久杉でしかできないものを作りたいです。

屋久杉の伐採は禁じられていますが、商品には倒木や過去に伐採されて残った切り株などの土埋木だけを使います。山の危険な斜面にある土埋木をヘリコプターで搬出することもよくあります。当社では原木の製材から最終加工、販売までを一貫して自社内で行っており、おがくずから屋久杉のオイルを抽出して商品化するなど、貴重な屋久杉

を100%使い切っています。

仏壇や神棚をはじめ印鑑や扇子、お香、腕時計、イブニングバッグなど、業界初の商品も数多く開発してきました。ほかにも屋久杉の種から苗を育てて商品化していますよ。

今後の抱負をお聞かせください。

商品のデザインを磨きたいと考えています。伝統技術を駆使して気の利いた商品、お客さまに認められる商品を今後も開発していかねければならない。素材である屋久杉に限りのある中で、日々、屋久杉製品の進化を目指しています。

東京の一等地に店を出し、販売することも一つの目標です。

さわやかな香りとともに、木のぬくもりと高級感のある屋久杉製品。アクセサリや電卓、USBメモリなど、おしゃれな商品が数多くあります。普段の生活にさりげなく取り入れて、一生大切に試してみてくださいいかがでしょうか。



伝統技術により仕上げられた完成間近の神棚を紹介する山王社長(左)と工場長(右)。



一つ一つ丁寧に磨き、仕上げの作業を行います。

Presents
プレゼントコーナー



屋久杉のおはしを3名様にプレゼント。

応募締切／平成22年4月30日(金)
応募方法／ハガキ、FAXまたは電子メールに

①「グラフ かごしま」に関するご意見・ご感想、②郵便番号、③住所、④氏名、⑤年齢、⑥職業、⑦電話番号をご記入の上、下記までお送りください。

●はがき宛先 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県広報課「グラフかごしまプレゼント係」
●FAX 099-286-2119 (件名は「グラフかごしまプレゼント」)
●メールアドレス h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

※いただいた個人情報は、プレゼント送付以外の目的には利用いたしません。
※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



「鹿児島ブランドショップ」(県産業会館1階)

かごしま新茶フェア

平成22年4月上旬～

県内の特産品の問い合わせ、ご用命は

鹿児島ブランドショップへ

鹿児島県特産品協会

〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 鹿児島県産業会館
☎099-225-6120 FAX099-223-0755

●定休日 年末・年始 ●営業時間 午前9時～午後6時

東京店 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-6-4 千代田ビル3F
☎03-3506-9171 FAX03-3506-9172

ホームページURL <http://www.k-p-a.jp>

